

# ANTENNA

## 第3回全統高1模試

全国37,805名の高1生が参加して実施された第3回全統高1模試の成績結果と学習アドバイスをお届けします。

今回の模試では、高1の10月までの学習内容の総整理と弱点科目・分野の発見、補強を目的として重要項目を中心に扱うとともに、基本事項がどの程度理解されているかを確認する出題内容としました。

皆さんは、返却された答案や成績表などで誤答箇所を再確認し、『学習の手引き』や本冊子を活用して、より効果的な学習を進めてください。今の実力に甘んじることなく、早めに目標を定めて着実に学習を重ねていきましょう。

### 《次回実施のご案内》

次回全統模試のご案内につきましては、こちらをご確認ください。

[www.kawai-juku.ac.jp/zento/](http://www.kawai-juku.ac.jp/zento/)

スマートフォンの方はこちら



## も く じ

《全統模試見直しシート》	2
《これが今回の模試の結果だ》	
個人成績表の見方	3
・あなたの成績と比較しよう	
総合成績表・科目別成績表	5
・どの設問で差がついたか確認しよう	
教科科目別設問別成績表	6
小問(単位問)別平均点	7
《弱点克服のためにもう一度見直そう》	
学習対策	9
英語	9
数学	9
国語	10
《採点に関する問い合わせについて》	11
《お問い合わせ先一覧》	13

※本冊子の編集内容の無断転載・複製を禁止します。

## 全統模試 見直しシート

**STEP 1**

個人成績表「1. 成績概況」を確認し、受験した教科・科目と偏差値を書き込みましょう。

**STEP 2**

個人成績表「2. 設問別成績」の、あなたと同じ学力レベル層や、第1志望校の一段階上の判定者との成績比較で差がついた設問を確認し、弱点となっている分野を書き込みましょう。

**STEP 3**

弱点分野を中心に、「学習の手引き」や本冊子の「学習対策」、模試ナビの解説講義動画などを確認し、今回の模試の反省点と、今後の具体的な対策（何を、いつまでにやるのか）を書き込みましょう。

**STEP 4**

個人成績表「3. 志望校別成績・評価」を参考に、次回の模試の目標得点を書き込みましょう。

STEP 1		STEP 2	STEP 3		STEP 4
教科・科目	偏差値	弱点分野	今回の反省点	今後の対策	次回の目標得点
(例) 英語	52.1	文法・語法	基本的な文法の理解ができていない	次回の模試までに文法集の11～30ページをノートにまとめて復習する	55.0



# 模試ナビ

河合塾 全統模試学習ナビゲーター



模試ナビは、Web上で全統模試の復習や成績確認などができるサービスです

利用料無料



河合塾講師によるわかりやすい解説講義動画が視聴可能！  
間違えた問題は必ずチェックして理解を深めよう。



詳しい学習アドバイスやライバルとの差をつける追加問題など、模試ナビだけのコンテンツも多数閲覧できます。

詳しくはこちらから  
[www.kawai-juku.ac.jp/zento/moshi-navi/](http://www.kawai-juku.ac.jp/zento/moshi-navi/)

# 個人成績表の見方

各項目について、詳しくはP.4をご確認ください。

## 1. 成績概況

自分の学力状況や全国での位置づけを確認しましょう

- ✓ 各科目の得点や偏差値、順位、平均点などを表示しています。

教科・科目	あなたの得点		偏差値	学力レベル	平均点		順位	平均点		順位(全国偏差値による)	偏差値		平均点	順位(全国偏差値による)	
	総合	必須問題			(位)	(人中)		(位)	(人中)		(位)	(人中)			
英語	165	200	72.3	S	87.3	2398	114516	93.4	417	10188	68.9	103.0	12	220	
総合	111	200	57.1	B	84.1	29576	113971	80.8	2470	9942	65.2	62.5	21	220	
数学	80	150	55.7	B	63.0	33979	113971	60.4	2769	9942	62.9	49.1	27	220	
必須問題	31	50	58.7	B	21.2	24702	113513	20.5	2229	9889	66.5	13.5	20	219	

## 全統高1模試 個人成績表 第1面【秘】

教科・科目	あなたの得点		偏差値	学力レベル	平均点		順位	平均点		順位(全国偏差値による)	偏差値		平均点	順位(全国偏差値による)	
	総合	必須問題			(位)	(人中)		(位)	(人中)		(位)	(人中)			
英語	165	200	72.3	S	87.3	2398	114516	93.4	417	10188	68.9	103.0	12	220	
総合	111	200	57.1	B	84.1	29576	113971	80.8	2470	9942	65.2	62.5	21	220	
数学	80	150	55.7	B	63.0	33979	113971	60.4	2769	9942	62.9	49.1	27	220	
必須問題	31	50	58.7	B	21.2	24702	113513	20.5	2229	9889	66.5	13.5	20	219	

設問別	内容	あなたの得点		偏差値	校内平均点	あなたと同じ学力レベル層との成績比較		第1志望校の一段階上の判定者との成績比較						
		総合	必須問題			平均点	差		平均点	差				
1	リスニング	17	20	7.5	8.7	1	13.0	4.0	0	20.0%	Sレベル	1	12.9	4.1
2	読みの理解	12	20	7.8	8.7	2	13.8	-1.8	▲	-9.0%	Fレベル	2	13.4	-1.4
3	文法	22	30	12.0	13.3	3	21.3	0.7	▲	2.3%	Fレベル	3	22.3	0.3
4	長文	33	40	18.3	22.8	4	32.9	0.1	▲	0.3%	Fレベル	4	27.6	5.4
5	長文総合読解	45	50	24.1	29.7	5	43.2	1.8	▲	3.6%	Fレベル	5	43.1	1.9
6	長文総合読解	36	40	17.7	19.8	6	32.4	3.6	▲	9.0%	Fレベル	6	30.7	5.3

設問別	内容	あなたの得点		偏差値	校内平均点	あなたと同じ学力レベル層との成績比較		第1志望校の一段階上の判定者との成績比較						
		総合	必須問題			平均点	差		平均点	差				
1	リスニング	17	20	7.5	8.7	1	13.0	4.0	0	20.0%	Sレベル	1	12.9	4.1
2	読みの理解	12	20	7.8	8.7	2	13.8	-1.8	▲	-9.0%	Fレベル	2	13.4	-1.4
3	文法	22	30	12.0	13.3	3	21.3	0.7	▲	2.3%	Fレベル	3	22.3	0.3
4	長文	33	40	18.3	22.8	4	32.9	0.1	▲	0.3%	Fレベル	4	27.6	5.4
5	長文総合読解	45	50	24.1	29.7	5	43.2	1.8	▲	3.6%	Fレベル	5	43.1	1.9
6	長文総合読解	36	40	17.7	19.8	6	32.4	3.6	▲	9.0%	Fレベル	6	30.7	5.3

設問別	内容	あなたの得点		偏差値	校内平均点	あなたと同じ学力レベル層との成績比較		第1志望校の一段階上の判定者との成績比較						
		総合	必須問題			平均点	差		平均点	差				
1	リスニング	17	20	7.5	8.7	1	13.0	4.0	0	20.0%	Sレベル	1	12.9	4.1
2	読みの理解	12	20	7.8	8.7	2	13.8	-1.8	▲	-9.0%	Fレベル	2	13.4	-1.4
3	文法	22	30	12.0	13.3	3	21.3	0.7	▲	2.3%	Fレベル	3	22.3	0.3
4	長文	33	40	18.3	22.8	4	32.9	0.1	▲	0.3%	Fレベル	4	27.6	5.4
5	長文総合読解	45	50	24.1	29.7	5	43.2	1.8	▲	3.6%	Fレベル	5	43.1	1.9
6	長文総合読解	36	40	17.7	19.8	6	32.4	3.6	▲	9.0%	Fレベル	6	30.7	5.3

## 2. 設問別成績

分野ごとの成績や、どの分野でライバルと差があったのかを確認しましょう

- ✓ 各科目の設問別の成績や、成績を基にした学習アドバイスを表示しています。
- ✓ あなたと同じ学力レベル層 (S~Fレベル) の平均点とあなたの得点を比較して、最も良かった設問に○、悪かった設問に▲を表示しています。
- ✓ 第1志望校について、あなたの評価より一段階上の判定者との成績比較を表示しています。

## 3. 志望校別成績・評価

志望校までの距離やライバルの中での位置づけを確認しましょう

- ✓ 志望大学・学部・学科の総志望者の中での、あなたの位置づけを示しています。
- ✓ 評価では、学習到達度の度合いを下の5段階で表示しています。

A: この調子で頑張れば合格圏内 D: まだまだ努力が必要、頑張りましょう。  
 B: もうひとふんばりで合格圏内 E: 志望大学へ向けて、まず基本事項の総復習を行いましょう。  
 C: これからの努力次第、弱点を克服しましょう。 H: 教科不足による国公立大参考評価

## 全統高1模試 個人成績表 第2面【秘】

科目	学力要素区分	あなたの得点率		校内平均得点率	平均得点率	あなたと同じ学力レベル層との差	学力要素別偏差値(偏差値)	あなたと同じ学力レベル層との差
		総合	必須問題					
英語	知識・技能	72.0	40.8	45.5	68.4	3.6	知識	★
	思考力・判断力	64.0	44.1	52.4	79.7	4.3	思考力	★
数学	知識・技能	68.7	33.8	33.9	50.1	16.6	知識	★
	思考力・判断力	45.2	40.3	31.0	60.7	-15.5	思考力	★
国語	知識・技能	69.4	37.2	22.2	62.3	7.1	知識	★
	思考力・判断力	75.9	66.1	65.1	76.5	-0.6	思考力	★
理科	知識・技能	44.2	35.6	35.2	44.8	-0.6	知識	★
	思考力・判断力	47.7	35.1	36.3	43.6	4.1	思考力	★

## 5. 学力要素別成績

科目	学力要素区分	あなたの得点率		校内平均得点率	平均得点率	あなたと同じ学力レベル層との差	学力要素別偏差値(偏差値)	あなたと同じ学力レベル層との差
		総合	必須問題					
数学	1 (5月)	52.8						
	2 (8月)	56.3						
	3 (11月)	55.8						
	4 (1月)	57.1						

## 4. 成績推移

学習成果の長期的な推移を確認しましょう

- ✓ 今年度の第1~4回全統高1模試の成績推移を表示しています。

## 5. 学力要素別成績

どの学力要素でライバルとの差があったのか、自身の弱点を確認しましょう

- ✓ 教科別・学力要素別の得点率と、全国や校内の平均得点率を表示しています。
- ✓ あなたと同じ学力レベル層 (S~Fレベル) の平均得点率と、あなたの得点率を比較できるように表示しています。

## 個人成績表の見方<注釈>

### 1. 成績概況

■学カレベルの定義は以下の通りです。

S : 偏差値 65.0 以上	D : 偏差値 45.0 ~ 49.9
A : 偏差値 60.0 ~ 64.9	E : 偏差値 40.0 ~ 44.9
B : 偏差値 55.0 ~ 59.9	F : 偏差値 40.0 未満
C : 偏差値 50.0 ~ 54.9	

■総合1は、1型：英数型、2型：英国型、3型：英数国型の各受験型の母集団での位置づけを示します。「偏差値」は、全受験科目の偏差値の平均値です。

■総合2は、文系または理系別の位置づけを示します。理系・文系の区分けは英数国型生は受験届のマークによります。また、英数型生は理系、英国型生は文系とします。成績は、理系は英・数、文系は英・国の偏差値の平均値を用い、それぞれの全受験者の中での順位および平均点を表示しています。

■校内成績欄の母集団は、在籍高校です。偏差値は母集団が20名以上の場合のみ表示しています。

※校内順位は全国偏差値をもとに順位づけしています。

### 2. 設問別成績

■第1志望校の一段階上の判定者との成績比較とは、例えばあなたがC判定であれば、B判定者の平均点との比較になります（A判定の場合はA判定者の平均点との比較になります）。母集団は国公立大は出願予定者、私立大は総志望者です。一段階上の判定者が一人もいない場合は表示されません。

### 3. 志望校別成績・評価

■「学部・学科内の順位」では、志望大学・学部・学科の総志望者の中での、あなたの位置づけを示します。

■「評価偏差値」

国公立大については、英・数・国の3教科の偏差値の平均値を使用しています。

ただし、3教科受験していない場合でも、2教科を受験していれば、参考として「H」を付して評価を行います。ただし、順位は表示されません。

私立大・短期大については、学科内容から文・理分けを行い、理系は英・数、文系は英・国の偏差値の平均値を使用します。

ただし、上記の教科を受験していない場合でも、2教科を受験していれば、参考として評価を行います。

※1教科しか受験していない場合は、評価は行わず、順位も表示されません。

■「評価」では、志望大学に合格するために必要な学力がどのくらい身につけているのかの、学習到達度の度合いの「評価」を以下の5段階で表示しています。

- |                                  |
|----------------------------------|
| A : この調子で頑張れば合格圏内                |
| B : もうひとふんばりで合格圏内                |
| C : これからの努力次第、弱点を克服しましょう。        |
| D : まだまだ努力が必要、頑張りましょう。           |
| E : 志望大学へ向けて、まずは基本事項の総復習を行きましょう。 |
| H : 教科不足による国公立大参考評価。             |

詳しくはこちらの該当模試のページからご確認ください。  
[www.kawai-juku.ac.jp/zento/statistics/](http://www.kawai-juku.ac.jp/zento/statistics/)



### 4. 成績推移

■今年度の第1～4回全統高1模試の各教科・英数国の総合成績の偏差値を棒グラフで表示しています。学力伸長度・学習成果の長期的な変化を確認できます。今後の学習対策に役立ててください。

### 5. 学力要素別成績

■今回の模試で出題された各問題が主にどんな学力を問うているのかを、学力を「知識・技能」「思考力・判断力」「表現力」の3要素に分類し、学力要素ごとの成績（得点率）を表示しています。選択問題が出題されている場合は、選択パターンごとに集計しています。

## ◆総合成績表 受験者総数 **37,805**名

英数(理系)、英国(文系)は、文理別の全受験者を母集団としています。

	配点	平均点	標準偏差	平均偏差値	最高点	最低点	人数
英数型	400	162.6	-----	50.6	328	19	498
英国型	400	161.2	-----	49.5	301	54	411
英数国型	600	244.1	-----	50.0	556	0	36803
英数	400	173.1	-----	52.0	398	0	20546
英国	400	159.4	-----	49.2	359	3	17166

※全国の受験者の中での位置を教科・科目別／志望別に確認できる「教科科目別成績順位表」「受験型別総合偏差値順位表」や、選択した志望校以外の大学・学部・学科の二次試験・一般試験の合格可能性が確認できる「合格可能性評価基準一覧」を、河合塾ホームページに掲載しています。  
[www.kawai-juku.ac.jp/zento/statistics/](http://www.kawai-juku.ac.jp/zento/statistics/)

スマートフォンの方は  
こちら



## ◆科目別成績表

この模試に何人参加し、平均点はどれくらいであったのか、自分の成績は平均点よりどれほど差があったのか、また最高点はどれくらいあったのかを教科・科目別に読みとれます。自分の結果と照らし合わせ、攻略すべき教科・科目を確認してください。

	配点	平均点	標準偏差	平均偏差値	最高点	最低点	人数
英語	200	79.0	33.5	50.0	200	0	37725
数学	200	79.8	37.9	50.0	200	0	37353
数学必須	150	65.9	31.0	50.0	150	0	37353
数学選択	50	14.0	10.0	50.0	50	0	37102
国語	200	85.3	26.3	50.0	183	0	37262
現代文	110	52.3	16.6	50.0	110	0	37262
古文必須	50	17.3	8.3	50.0	50	0	37262
古漢選択	40	15.6	7.8	50.0	40	0	37262

## ◆教科科目別設問別成績表

設問ごとの平均点はどれくらいであったか、自分の成績と比べ、平均点との差に注目してください。  
その結果から、弱点分野を確認し、今後の学習に役立ててください。

## 英 語

設問	設 問 内 容	配点	平均点 全 体	標 準 偏 差	最高点	最低点	人 数 全 体
トータル		200	79.0	33.5	200	0	37725
1	リスニング	30	13.8	6.7	30	0	37725
2	語い・熟語	20	8.0	4.8	20	0	37725
3	文法	30	11.4	5.6	30	0	37725
4	英作文	30	11.3	7.5	30	0	37725
5	記述式長文総合読解問題	50	16.5	9.1	50	0	37725
6	客観式長文総合読解問題	40	18.1	9.0	40	0	37725

## 国 語 \*国語の①・②・③は、必須問題です。④・⑤は、選択問題です。

設問	設 問 内 容	配点	平均点 全 体	標 準 偏 差	最高点	最低点	人 数 全 体
トータル		200	85.3	26.3	183	0	37262
1	現代文（評論の読解）	60	28.0	9.0	60	0	37262
2	現代文（随筆の読解）	50	24.4	10.4	50	0	37262
3	古文（随筆の読解）	50	17.3	8.3	50	0	37262
4	漢文（説話の読解）	40	17.2	8.1	40	0	23450
5	古文（説話の読解）	40	12.8	6.5	36	0	13812

## 数 学 \*数学の①・②・③は、必須問題です。④・⑤は、選択問題です。

設問	設 問 内 容	配点	平均点 全 体	標 準 偏 差	最高点	最低点	人 数 全 体
トータル		200	79.8	37.9	200	0	37353
1	数学 I 小問集合	40	24.6	9.1	40	0	37353
2	数 A 場合の数・数 I 2次関数	60	25.8	14.3	60	0	37353
3	数学 I 2次関数	50	15.5	12.2	50	0	37353
4	数学 I 図形と計量	50	17.2	9.6	50	0	13424
5	数学 A 確率	50	12.2	9.8	50	0	23678

## 小問（単位問）別平均点＜英 語＞

英 語

受験者数： 37725 人

設問 No.	設問内容	配点	平均点	小問No.	配点	平均点	知識技能	思考力判断力	表現力				
1	リスニング	30	13.8	1. A (1) (a)	2	1.6	○						
				1. A (1) (b)	2	0.4	○						
				1. A (2) (a)	2	1.1	○						
				1. A (2) (b)	2	0.3	○						
				1. A (2) (c)	2	0.4	○						
				1. B (1)	4	0.9		○					
				1. B (2)	4	1.3		○					
				1. B (3)	4	3.4		○					
				1. C (1)	4	3.0		○					
				1. C (2)	4	1.5		○					
				2	語い・熟語	20	8.0	2. A (1)	2	0.9	○		
								2. A (2)	2	0.9	○		
								2. A (3)	2	0.8	○		
2. A (4)	2	0.5	○										
2. A (5)	2	0.6	○										
2. B (1)	2	1.5	○										
2. B (2)	2	0.6	○										
2. B (3)	2	0.5	○										
2. B (4)	2	1.1	○										
2. B (5)	2	0.7	○										
3	文法	30	11.4					3. A (1)	3	2.0	○		
				3. A (2)	3	2.3	○						
				3. A (3)	3	1.5	○						
				3. A (4)	3	0.5	○						
				3. A (5)	3	1.1	○						
				3. A (6)	3	1.1	○						
				3. A (7)	3	1.6	○						
				3. B (1)	3	0.6	○						
				3. B (2)	3	0.3	○						
				3. B (3)	3	0.4	○						
				4	英作文	30	11.3	4. A (1)	3	0.8	○		
								4. A (2)	3	1.3	○		
								4. A (3)	3	1.9	○		
								4. A (4)	3	1.0	○		
								4. A (5)	3	0.5	○		
4. B	7	1.7	○										
4. C	8	4.1						○	○				
5	記述式長文総合読解問題	50	16.5	5. 問1	5	1.3		○					
				5. 問2	10	0.5		○					
				5. 問3	5	3.0		○					
				5. 問4	5	1.0		○					
				5. 問5	10	2.5	○						
				5. 問6	10	6.1	○						
				5. 問7	5	2.1		○					
6	客観式長文総合読解問題	40	18.1	6. A. 問1	5	3.1		○					
				6. A. 問2	5	1.3		○					
				6. A. 問3	5	1.6		○					
				6. A. 問4	5	2.3		○					
				6. A. 問5	5	2.0		○					
				6. B	15	7.7		○					

## 小問（単位問）別平均点＜数 学＞

数 学

受験者数： 37353 人

設問 No.	設問内容	配点	平均点	小問No.	配点	平均点	知識技能	思考力判断力	表現力				
1	数学 I 小問集合	40	24.6	1 (1) (i) ア	5	4.3	○						
				1 (1) (ii) イ	5	3.3	○						
				1 (2) (i) ウ	5	4.2	○						
				1 (2) (ii) エ	5	1.5	○						
				1 (3) (i) オ	5	3.7	○						
				1 (3) (ii) カ	5	2.5	○						
				1 (4) (i) キ	5	2.7	○						
				1 (4) (ii) ク	5	2.3	○						
				2	数 A 場合の数・数 I 2次関数	60	25.8	2 [1] (1)	5	3.7	○		
								2 [1] (2)	7	4.7	○		
								2 [1] (3)	8	2.2	○		
2 [1] (4)	10	2.1						○					
2 [2] (1) i	4	3.0	○										
2 [2] (1) ii	8	5.5	○										
2 [2] (2)	8	3.5						○					
2 [2] (3)	10	1.1		○									
3	数学 I 2次関数	50	15.5	3 (1)	6	4.1	○						
				3 (2)	8	4.7	○						
				3 (3)	10	4.6	○						
				3 (4)	12	2.0		○					
				3 (5)	14	0.1		○					
4	数学 I 図形と計量	50	17.2	4 (1) (i)	5	4.0	○						
				4 (1) (ii)	10	7.1	○						
				4 (1) (iii)	5	3.4	○						
				4 (2)	8	2.0	○						
				4 (3) (i)	10	0.4		○					
4 (3) (ii)	12	0.1		○									
5	数学 A 確率	50	12.2	5 (1) (i)	7	4.2	○						
				5 (1) (ii)	7	3.6	○						
				5 (1) (iii)	8	1.6		○					
				5 (2) (i)	8	2.6	○						
				5 (2) (ii)	10	0.2		○					
5 (2) (iii)	10	0.1		○									

# 小問（単位問）別平均点＜国 語＞

国 語

受験者数： 37262 人

設問 No.	設問内容	配点	平均点	小問No.	配点	平均点	知識 技能	思考力 判断力	表現力
1	現代文（評論の読解）	60	28.0	1.問1.a	3	2.2	○		
				1.問1.b	3	1.8	○		
				1.問1.c	3	0.6	○		
				1.問1.d	3	1.1	○		
				1.問2	8	4.8	○		
				1.問3	8	1.1		○	
				1.問4	6	2.8		○	
				1.問5	12	5.2			○
				1.問6	12	7.2		○	
				1.問7	2	1.1	○		
2	現代文（随筆の読解）	50	24.4	2.問1.a	2	1.4	○		
				2.問1.b	2	1.4	○		
				2.問1.c	2	0.7	○		
				2.問2	6	4.9		○	
				2.問3	7	4.9		○	
				2.問4	7	3.0		○	
				2.問5	12	3.2			○
				2.問6.A	4	1.6		○	
				2.問6.B	8	3.2		○	
				2.問6	4	1.6		○	
3	古文（随筆の読解）	50	17.3	3.問1.a	2	0.6	○		
				3.問1.b	2	0.9	○		
				3.問1.c	2	0.7	○		
				3.問1.d	2	0.3	○		
				3.問1.e	2	0.7	○		
				3.問2.1	3	2.0		○	
				3.問2.2	3	0.7		○	
				3.問2.3	3	1.0		○	
				3.問3.1	4	1.3	○		
				3.問3.3	4	3.0	○		
				3.問3.4	4	2.3	○		
				3.問4	6	2.4		○	
				3.問5.I	5	0.8		○	○
				3.問5.II	5	0.4		○	○
				3.問6	3	0.2	○		
				4	漢文（説話の読解）	40	17.2	4.問1.a	2
4.問1.b	2	0.1	○						
4.問1.c	2	0.9	○						
4.問2.X	3	2.3	○						
4.問2.Y	3	2.0	○						
4.問3	7	5.1						○	
4.問4	5	2.9	○						
4.問5	7	0.1						○	
4.問6	9	3.1		○					
5	古文（説話の読解）	40	12.8	5.問1	4	0.3	○		
				5.問2.2	4	2.8	○		
				5.問2.6	4	2.2	○		
				5.問2.7	4	1.6	○		
				5.問3	6	1.7		○	
				5.問4	8	0.3		○	○
				5.問5	4	2.4	○		
5.問6	6	1.7		○					

## 学習対策

ここでは教科・科目ごとにポイントとなる問題を取り上げ、その問題の概要と正解を導くために必要な力についてコメントをしています。今後の学習のアドバイス等も記してありますので、自分が受験した教科・科目を確認して復習に役立てましょう。

なお設問別アドバイス、採点基準、学力要素一覧表は、模試ナビ(河合塾 全統模試学習ナビゲーター)に掲載していますので、確認をしてください。

## 英語

文脈を理解する力を高めよう！

### 第3問 文法問題

能動・受動の関係を訳語ではなくイメージで理解する力

準動詞における能動・受動表現は「…する」「…される」という日本語訳で捉えることができるが、この日本語訳が逆に理解を混乱させる場合がある。例えば「観客はその大きなホームランに驚いている」を英語にすると、The spectators are surprised at the big home run. となる。観客は surprise「驚かせる」を受ける側だから surprised なのだが、日本語の「驚いている」から surprising としてしまうということが起きてしまう。

第3問A(6)では have O *done*(過去分詞)という重要構文を選ぶ問題を出題した。Why don't you have your eyes ( ) at the hospital? の空所に examine を正しい形で入れるのだが、have の目的語 your eyes と examine「検査する」の間には受動の関係が成立することがイメージできれば選択肢イの examined を選ぶことができる。注意したいのは、have O *done* は「Oを…してもらおう」「Oを…させる」というどちらの訳にもなりうるし、have O *do* も同様に「Oに…させる」「Oに…してもらおう」と訳しうるということだ。能動・受動の関係は日本語訳の字面だけでなくイメージで理解することが大切だ。文法の知識は文章を読む土台となるものなのでしっかりと身につけていきたい。

### 第5問 長文総合問題

文脈を読み取り比喩を理解する力が問われる問題

英文を読む難易度は使われる語彙や文法・語法的要素や文構成の複雑さだけの問題ではなく、内容が具体的か抽象的か、一般的か専門的かといった要素にも左右される。比喩的表現もまた文脈の理解と切っても切り離せないものだ。

第5問の間2では下線部“mosquito magnets”の内容を具体的に書くという問題を出題した。これは文字どおりには「蚊の磁石」となるが、magnets「磁石」は文脈には関係のない語なので、磁石が鉄を引き寄せるように蚊を引き寄せてしまうものの比喩と考えられる。引用符でくくられていることも比喩であると考え手がかりだ。ここでは2文前の「他の人よりも蚊を引き寄せやすい人がいる」という内容と、該当する文が Having one of these “mosquito magnets” around ... 「こういった“mosquito magnets”が周りにいることが…」となっていることから、“mosquito magnets”は「他の人よりも蚊を引き寄せやすい人々」を意味していることがわかる。整理すると、まず magnet という単語の意味を知っているか。次に比喩であることが理解できるか。さらに該当する文の形から「…する人々」とすることができるといことが求められている。つまり、語彙の知識、文脈の理解、文構造と文の意味が必要なのだ。下線部の内容説明問題は記述問題であるため配点も大きく、こういった問題の出来・不出来が得点を左右するポイントになると言える。

## 数学

知識を増やし思考力を鍛えよう！

### 第3問 (4), (5)

2次関数(2次方程式・2次不等式)

(4)は、2次方程式  $g(x)=0$  が  $x>2$  を満たす範囲に異なる2つの実数解をもつような  $k$  の値の範囲を求める問題である。ここでの実数解は  $y=g(x)$  のグラフと  $x$  軸との共有点の  $x$  座標であるから、グラフを利用して考えることがポイントである。

(5)は、問題の題意を読み取り、方針を立てる思考力が必要な問題である。この問題の求める条件は、「 $f(x)<0$  を満たす整数  $x$  のうち、ちょうど2個だけが  $g(x)<0$  を満たすこと」である。この問題もグラフを用いてこの条件を満たすような  $k$  の値の範囲を求めることができたかがポイントである。これらの問題のようにグラフを利用して条件を満たすような文字の範囲を求める問題はこれからも重要となるから、『学習の手引き』を参考にしっかり学習しておこう。

### 第4問 (3)(i), (3)(ii)

図形と計量(空間図形を除く)

(3)(i)は、円  $K$  に内接する四角形において、線分  $AE$  の長さを求める問題である。線分  $BE$  が角の二等分線の場合  $AE=CE$  であることを利用できるかがポイントである。その後三角形  $ACE$  に余弦定理を利用すると線分  $AE$  の長さは求まる。基本的な性質や定理をしっかり復習しておこう。

(3)(ii)は、三角形  $EPQ$  の面積を求める問題である。すでに面積が求まっている三角形  $ACE$  と三角形  $EPQ$  の面積比から面積を求める。このとき、 $AC:PQ$  の比が必要になるが、これを求めるために必要な  $AP:CP$  などの求め方は大事であるから、しっかり復習しておいてほしい。この問題ではわからないもの( $\triangle EPQ$  の面積)をわかるものを用いて求めるという思考力が必要な問題であった。解答を作るためにどのような道筋を辿っていけばよいかしっかり学習しよう。

まずしっかり基本となる知識を身につけ、思考力を発揮できるように今回の模試のような問題で学習してほしい。

# 国語

## 【現代文】

選択肢の内容を本文と慎重に照らし合わせよう／〈設問の要求〉に即して解答を書こう

### 第一問 問六 選択問題／第二問 問五 記述問題 主題を読み取る力を問う問題／解答を構成する力を問う問題

第一問の問六は、「本文の内容に合致するもの」を選ぶことが求められている。特定の傍線部がなく「本文の内容」を問う問題では、選択肢ごとにその内容が本文と合致するかどうかを判断していこう。まず、一つの選択肢全体の内容をつかんだうえで、その選択肢をいくつかの意味のまとまりに分け、それぞれを本文と照らし合わせてみるのが有効だ。たとえば選択肢アなら、「文化の違いに対して困惑を表明するような文章は、明治時代から数多く書かれている」に対応する箇所が本文にあるか、さらに「そこで話題にされたのは自然や気候ではなく、もっぱら衣食住であった」に対応する箇所があるかを調べるのである。すると、第一段落に基づいて「話題にされたのは自然や気候ではなく」が根拠のない説明だとわかる。

第二問の問五は記述問題だが、傍線部には「読んでいてなんだか元気が出てきた」とあり、それは『奥本大三郎』の文章を読んでどのようなことを感じたからか』が問われている。つまりこの設問では、筆者が奥本大三郎の文章を読んで「元気が出てきた」のは、「どのようなことを感じたからか』が問われているのである。まずはこうした〈設問の要求〉、言い換えれば、設問を作った出題者が何を説明させようとしているのか、を正確につかむことが大切だ。何が問われているのかを正確につかまないと、正確に答えることもできないからである。解答を書くためのこうした前提をおろそかにしてしまうと、記述問題はなかなか上達しない。焦らずに落ち着いて取り組むことも大切なのである。

## 【古文】

助動詞のはたらきを正しく理解しよう！

### 第三問 問一 選択問題 文法力を問う問題

問一は助動詞の文法的意味を問う問題だった。助動詞は、他の語について叙述の意義を補ったり、話し手の判断の性質を表現したりする品詞である。

助動詞を正しく理解するには、まず「接続」「活用」「意味」の「三要素」を覚えておくことが大切である。どの活用形(もしくは品詞)に「接続」する助動詞なのか、どのように「活用」するのか、どのような文法的「意味」を持つのか、そして、どう「訳す」のか。これを約30語の助動詞一つずつについてしっかり覚えなければならない。助動詞一覧表などを見ればもちろんわかることだが、古文の助動詞は、現代では用いられていなかったり、用い方が変わってしまっていたりするものが大半だからである。

たとえば、波線部c「ぬ」は、ラ行四段活用動詞「承る」の連用形「承り」に接続していることから、「な／に／ぬ／ぬる／ぬれ／ぬよ」と活用する完了の助動詞「ぬ」の終止形と判断し、「承りぬ」を「承知した」と訳す。この「ぬ」を未然形に接続し、「(ず)／ず／ず／ぬ／ぬ／ぬ」と活用する打消の助動詞「ず」の連体形と判断してしまうと、「承りぬ」を「承知しない」と訳すことになり、文脈が正反対になってしまう。助動詞を正しく分析できないと本文全体を誤読する可能性があるのだ。

まずは助動詞の「三要素」の知識をしっかり持っていたかどうか。他の波線部についても、各助動詞の「意味」に合う選択肢を選べたかどうか。これができなかった受験生は、とにかく「三要素」を頭に入れ、文章中にあらわれるたびごとにそれを正確に「訳す」訓練を地道にしっかり積んでほしい。

正しく訳せなければ文章の内容はつかめない。文章を細部に配慮して丁寧に現代語訳しながら場面の展開を押さえる、古文の読解を確実に進めていくためには、助動詞の理解が不可欠である。この認識を持って、早め早めに、遅くとも一年次のうちには助動詞表を覚えて使いこなせるようにすることが大切である。

## 【漢文】

再読文字を習得しよう！

### 第四問 問五 書き下し文の問題 情報を収集し整理する力を問う問題

問五では再読文字「当」の用法が重要であった。ところが答案の中には再読文字の理解が不十分と思われるものが多かった。ここでは再読文字の習得を中心として、漢文の学習法を考えたい。

再読文字とは文中で二度読む文字である。この特別な性質のために再読文字の習得には、特別な準備が必要になるのである。まず、返り点と送り仮名の付け方に特別な規則がある。

①返り点の付け方 再読文字の左下にある返り点は二度目に読む順序を表す。最初に読むときは返り点を無視し、二度目に読むときは返り点に従って読むと覚えてよい。

念のため付け加えると、最初に読むときは返り点を無視するというのは、そもそも左下に返り点が施されていない文字は上から下へという順序で読むという大原則に則っているのである。

②送り仮名の付け方 最初に読む部分の送り仮名は漢字の右側に施し、二度目に読む部分の送り仮名は漢字の左側に施す。

もちろん漢字の左側に送り仮名の必要がないこともある。

さて、こうした特別な規則のある再読文字は、漢文学習者の学習の進捗を測るにふさわしいとみなされる。返り点・送り仮名の基本的な規則を踏まえただけで特別な規則を習得したとみなせるからである。そして、再読文字はしばしば試験問題に取り上げられるのだが、問五は返り点だけ残して送り仮名を施さない形式で出題されていた。先に述べた特別な規則の知識が問われているのは言うまでもないが、それよりもまず必要とされる知識は、「当」が「まさニ〜ベシ」と読む再読文字ということであった。

再読文字の習得は返り点・送り仮名についての基本の習得が前提になると述べたが、とりあえずの目標として一つ一つの再読文字の読み方を知っておくことが求められると言えるだろう。

問五ではもちろん「耳」が「のみ」と読まれる文字であるという知識も重要だが、漢文訓読の基本からの第一歩を確実に踏まえているという点からすると、再読文字の習得がより重要だと言える。

「採点に関する問い合わせ」について

このたびは、第3回全統高1模試を受験していただきありがとうございました。  
 答案・個人成績表を見直した結果、今回の採点や得点に関して疑問や質問がある場合は、  
 以下の手順に従ってお問い合わせください。

①送付先

右の問い合わせ用紙に記入し、13ページに記載されている河合塾の営業部あてに郵送にてお送りください。なお、河合塾生(塾生として申し込んだ高校グリーンコース生)の方は、所属校舎へご提出ください。

②問い合わせ用紙の記入方法

太枠内をすべて記入してください。問い合わせ内容は記入例を参考に以下の事項を記入してください。

- 科目名、大問・設問番号
  - 内容に該当する項目(A～Eの記号を選択)
  - 問い合わせ内容記入欄に、具体的な内容を補足
- \* 科目や項目が複数ある場合は、それぞれについて問題番号と内容を記入してください。  
 \* なお、志望校や氏名等、受験届に記入した内容の修正はできません。

③提出していただくもの

- 「採点に関する問い合わせ用紙」  
 (提出前に必要事項にもれがないか、内容が具体的に記入してあるかを再度確認してください。)
  - 「個人成績表」  
 (コピーでもかまいません。)
- \* ただし、Web返却対象者は必要ありません。

上記2点を同封し、封筒の表に朱書きにて「第3回全統高1模試 採点に関する問い合わせ用紙在中」と明記してお送りください。

- \* 答案については提出不要です。ただし、解答用紙番号をもとに河合塾にて答案データ照合を行いますので、お問い合わせ箇所と内容について、具体的に記入してください。  
 (不明点がある場合、確認のためにご連絡する場合があります。)  
 なお、お問い合わせ箇所をより正確に指摘するため、答案(コピー)に明示し、添付されてもかまいません。

④送付締切日

12月14日(土)到着分まで受け付けいたします。

⑤返送日

回答は、1月15日(水)頃発送の予定です。

【個人情報の取り扱いについて】

- 問い合わせ用紙に記入された個人情報は、厳重に取り扱い適正な管理を実施します。
- 利用目的 ・成績処理および成績返却  
 ・個人を特定できない方法による統計資料の作成

「採点に関する問い合わせ用紙」の記入・提出方法についてご不明な点は模試受付センターへお問い合わせください。

\*河合塾生(塾生として申し込んだ高校グリーンコース生)の方は、所属校舎にお問い合わせください。

模試受付センター(12:00~19:30 日曜、祝日および12/31~1/3は受付を行いません。)  
 0120-977-558

\*模試受付センターでは、正確な応対と対応品質向上のため、通話内容を録音させていただいております。

2024年度 第3回全統高1模試 採点に関する問い合わせ用紙

\*太枠内をすべてご記入ください。

提出日 月 日

フリガナ氏名					受験会場名				
受験番号					個人成績表の 解答用紙番号				—
高校名					クラス名			クラス番号	
住所 (連絡先)	〒 —				※マンション名、部屋番号まで記入してください。 方				
電話番号	( )	—			携帯電話番号	( )	—		

\*お問い合わせの該当箇所・内容がわかるように、詳細に記入してください。

科目名	大問	設問番号	項目
(例) 数学 口	[5]	[2]	B

←該当する項目(A～E)を左に記入してください。  
 A: 正答が×になっている。  
 B: 部分点が正しく与えられていない。  
 C: 採点されていない箇所がある。  
 D: 成績表の得点が、答案と異なる。  
 E: その他(下記に具体的に記入してください。)  
 \*志望校や氏名等、受験届に記入した内容の修正はできません。

【問い合わせ内容記入欄】\*上の表に対する補足説明等をできるだけ詳しく記入してください。

(例) 数学 Pの座標が(6, 6)にある確率の説明箇所の部分点が与えられていない。

【回答欄】

		回答者	

受付日	受付者	返却日	返却者



## お問い合わせ先一覧

### ■模試について

- ①個人でお申し込みの方 河合塾模試受付センター 0120-977-558  
②学校を通じてお申し込みの方 河合塾模試受付センター 0120-717-558  
③河合塾生の方 [高校グリーンコース生専用フリーダイヤル] 0120-751-577

\*河合塾模試受付センター/高校グリーンコース生専用フリーダイヤル(12:00~19:30 日曜、祝日および12/31~1/3は受付を行いません。)

### ■採点に関する問い合わせ用紙の記入・提出方法について

- ①河合塾生の方 所属校舎  
②河合塾生以外の方 河合塾模試受付センター 0120-977-558  
[www.kawai-juku.ac.jp/zento/grades/request/](http://www.kawai-juku.ac.jp/zento/grades/request/)



### ■採点に関する問い合わせ用紙の送付先 受付時間9:00~17:00(土日祝休み)

- 北海道営業 〒060-0809 札幌市北区北9条西3-3 (河合塾札幌校内) TEL(011)708-8584  
【担当地区:北海道】  
東北営業 〒980-0014 仙台市青葉区本町2-6-27 (河合塾仙台校内) TEL(022)215-7581  
【担当地区:青森・岩手・宮城・秋田・山形・福島】  
関東営業 〒330-0846 さいたま市大宮区大門町3-67-2 (河合塾大宮校内) TEL(048)647-9581  
【担当地区:茨城・栃木・群馬・埼玉・新潟・富山・長野】  
首都圏営業 〒160-0004 東京都新宿区四谷1-6-2 四谷グローバルスタディスクエア6階 TEL(03)6811-5532  
【担当地区:千葉・東京・神奈川・山梨】  
中部営業 〒464-8610 名古屋市中種区今池2-1-10 (河合塾千種校内) TEL(052)735-1511  
【担当地区:岐阜・静岡・愛知・三重】  
近畿営業 〒531-0072 大阪市北区豊崎3-13-1 TEL(06)6372-5731  
【担当地区:石川・福井・滋賀・京都・大阪・兵庫・奈良・和歌山・鳥取・岡山・徳島・香川・高知】  
中四国営業 〒732-0057 広島市東区二葉の里1-1-50 (河合塾二葉の里オフィス2階) TEL(082)264-4581  
【担当地区:島根・広島・山口・愛媛】  
九州営業 〒810-8619 福岡市中央区渡辺通4-2-11 (河合塾福岡校内) TEL(092)714-5711  
【担当地区:福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島・沖縄】